



CHAPTER 1

ネットワーク モニタリングおよび診断の概要

Cisco Prime Collaboration は、エンド ユーザに対する一貫性のある高画質ビデオと音声のコラボレーション体験の提供を保証するために役立つ、一連のモニタリング、トラブルシューティング、およびレポートの機能を持つ、包括的なビデオおよび音声サービスの保証、管理システムです。

Prime Collaboration には、次の利点があります。

- **Unified Communications** システムのためのプロビジョニング、モニタリング、診断、およびレポート機能を提供します。
- タイムリーなエンドツーエンド可視性をサポートし、セッション（コール）、エンドポイント、およびネットワークの音声およびビデオ関連の問題を切り分けます。
- サービスに影響を与える問題をトラブルシューティングし回復するまでの時間を短縮します。
- 重要な障害およびパフォーマンスの統計情報とともに、メディア（音声およびビデオ）パスの詳細な分析情報を提供します。これにより、サービス低下の原因となっているネットワーク デバイスを特定できます。
- 使用率および問題履歴を追跡できるレポートを提供します。

Prime Collaboration ダッシュボード

Prime Collaboration ダッシュボードにより、コラボレーション ネットワークのエンドツーエンドのモニタリングが可能になります。

Prime Collaboration ホーム ページから次のダッシュボードを表示できます。

ダッシュボード	説明
End-Users Impact ダッシュボード	セッションおよびアラームに関する情報。
Endpoints Utilization ダッシュボード	エンドポイントおよび使用率に関する情報。
Infrastructure ダッシュボード	会議デバイス、管理デバイス、通話とセッションのデバイス、およびビデオ ポートに関する情報。
Provisioning ダッシュボード	保留中のオーダー、デバイスの同期ステータス、および導入ステータスに関する情報。このダッシュボードは Assurance サーバおよび Provisioning サーバが統合されているときだけ使用できます。

ダッシュボードに関する詳細については、「[Prime Collaboration ダッシュボード](#)」の章を参照してください。

セッション モニタリング

Prime Collaboration は、エンドポイント、サービス インフラストラクチャ、およびネットワーク 関連問題の具体的な情報など、エンドツーエンド メディア パスを詳細に分析します。

Prime Collaboration により、すべての音声およびビデオ コラボレーションをモニタできます。これらのセッションは、次のいずれかのステータスのアドホック、スタティックまたはスケジュール済みセッションです。

- In-progress
- Completed
- Scheduled
- No Show

Prime Collaboration は、定期的に次の情報をインポートします。

- スケジュール済みセッションの管理アプリケーションおよび会議デバイス。
- エンドポイントにある登録およびコール ステータスの Cisco Unified Communications Manager (CM) および Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) などのコールおよびセッション制御デバイス。



(注)

エンドポイントが Cisco Unified CM または Cisco VCS に登録されており、Prime Collaboration で管理されている場合に限り、セッションをモニタできます。

Prime Collaboration は、複数のコールおよびセッション制御クラスタを管理します。クラスタ内およびクラスタ間のセッション（クラスタ内およびクラスタ間セッション）をモニタします。クラスタ ID およびクラスタ名が一意になるようにします。

次のセッション管理タスクを実行できます。

- セッション トポロジと参加者ステータスを表示します。セッション トポロジには、コラボレーション エンドポイントと、コールおよびセッション制御デバイスの詳細情報が含まれます。
- 進行中のセッションの一部であるエンドポイントの Quality of Service をモニタします。
- アプリケーション マネージャとマルチポイント スイッチからスケジュール済みセッションをインポートします。
- 進行中のセッションおよび過去のセッションのセッション統計（ビデオおよびオーディオ）を表示します。
- ペリフェラル、セッションおよびインベントリなど、エンドポイント詳細を表示します。
- セッションに関連付けられているアラームを表示します。
- 進行中のセッションをトラブルシューティングします。
- セッションを監視リストに追加します。Prime Collaboration は、セッションが監視リストに追加されると、自動的にトラブルシューティングを実行します。

セッション詳細を最新に保つ方法、セッション障害をモニタする方法、セッションをトラブルシューティングする方法については、「[セッションのモニタリング](#)」の章を参照してください。

エンドポイント モニタリング

Prime Collaboration により、すべての管理対象エンドポイントのステータスをモニタできます。

Prime Collaboration は、管理対象エンドポイントに対して次の詳細情報を表示します。

- スケジュール済みセッション
- アラーム (Critical、Major、Minor)
- ステータス (In use、Not in Use)
- システム詳細 (ソフトウェア バージョン、CPU 使用率、物理メモリ使用率など)
- ペリフェラル詳細 (IP フォン、カメラ、マイクなど)

Prime Collaboration サーバによって収集されるエンドポイント データについては、「[ビデオ エンドポイントのモニタリング](#)」の章を参照してください。

セッションのトラブルシューティング

Prime Collaboration では、進行中のセッションをトラブルシューティングできます。自動トラブルシューティングは、メジャーアラームが (パケット損失、ジッター、および遅延が原因で) 発生またはセッションが監視リストに追加された場合にトリガーされます。

ポイントツーポイントおよびマルチサイトセッションでは、トラブルシューティングはエンドポイント間で実行されます。マルチポイントセッションでは、トラブルシューティングは、アクティブ エンドポイントおよび会議デバイス間で実行されます。

Prime Collaboration は、トラブルシューティング ワークフロー中、エンドポイント間の完全なパス トレースを検出します。Cisco Video システムまたは TelePresence システムを導入するためのネットワークのレディネス アセスメントを容易にする機能も提供します (VSAA を使用)。

セッションのトラブルシューティング データは、Prime Collaboration データベースで保持されます。このデータはエクスポートできます。

Cisco メディアネットによるセッションのトラブルシューティング

Prime Collaboration は Cisco メディアネットを使用して、拡張パス計算、統計情報収集、および合成トラフィックの生成を行います。ネットワーク デバイスが Mediatrace 対応の場合、Prime Collaboration は次を提供します。

- ビデオ パスを含む詳細なフロー関連情報。
- Cisco Performance Monitor を使用したネットワーク ノードにおける全トラフィックのスナップショット ビュー。
- ネットワーク デバイスからの合成ビデオ トラフィックの開始機能。IP SLA ビデオ操作を使用してネットワーク上のビデオ パフォーマンスを評価します。

セッションのトラブルシューティングを行いながら、Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) および Cisco Prime LAN Management Solutions (LMS) アプリケーションを相互起動して、エンドポイント間で接続されているネットワーク デバイスの問題をさらに詳しく分析できます。

セッションおよびネットワークのトラブルシューティング方法については、「[ビデオ エンドポイントの診断](#)」の章を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

UC Topology ビューおよび Diagnostic ビューを使用して電話機のトラブルシューティング データを収集できます。

UC Topology ビューおよび Diagnostic ビューは次の情報を提供します。

- IP テレフォニーおよび音声ゲートウェイ デバイスの登録ステータス。
- SRST 対応デバイスの SRST ステータス。
- すべての音声デバイス間の論理関係。
- すべての Unified CM クラスタの障害に関する概要。
- 各 Unified CM クラスタで過去 24 時間に試行されたコールおよび完了したコールの数。
- バッチ テスト、模擬テスト、および電話テストのサマリー。
- クラスタ内のすべてのデバイスをまたぐイベントのサマリー。
- クラスタに関する概要情報

レポート

問題領域を識別し、使用率の低いシステムを見つけ、将来の導入に対して理想的なロケーションおよび必要なエンドポイント タイプを決定するために Prime Collaboration のレポートを使用できます。

次のレポートを生成できます。

- インタラクティブ レポート
- 静的レポート
- 管理レポート

レポートを生成する方法については、「[Prime Collaboration のレポート](#)」の章を参照してください。